

第485回番組審議会報告

開催日 : 令和2年2月26日(水)
場所 : 山形グランドホテル
出席委員 : 鬼武一夫 委員長/杉山健二 副委員長/阿部浩悦 委員
相馬佳苗 委員/中川愛美 委員/堀内史子 委員
桑山敏成 委員/鈴木雅史 委員

議事内容 : ◎社側報告

1. 挨拶 佐藤代表取締役社長

◎審議事項

1. 番組・視聴率・制作関連 大塚常務取締役編成制作局長
兼番組審議会事務局長

2. 報道関連 安部役員待遇報道局長

3. 番組合評

◇テレメンタリー2019

「もう限界 失われる“日本の原風景”」 (山形テレビ制作)

令和元年12月15日(日) 深夜26:24~26:54放送

担当: 報道局報道部記者 荒木拓美

◎その他

内容:

山形テレビの第485回番組審議会が開かれ、Y T Sが制作し全国放送された、テレメンタリー2019「もう限界 失われる“日本の原風景”」を合評しました。

この番組は、農家の高齢化や後継者不足などで棚田が耕作放棄地となっていく中、日本の棚田百選にも認定された山辺町大蔵地区の棚田を再生しようと取り組む地元の人たちの姿を追い、棚田をめぐる現状と課題を浮き彫りにしたドキュメンタリーです。

出席した委員からは、

「春から秋まで長期取材で棚田の美しさを映像で描いていた。地元テレビ局ならではの密着取材は評価できる」

「田植えから稲刈りまで稲の成長をドローンでとらえた空撮映像はきれいだ」

「農夫の会と有志の会など登場人物が多く、関連性がよく分からず混乱した」

「他の棚田との比較があればより分かりやすかった」

「斉藤アナの落ち着いたナレーションは評価できる」

「制作ディレクターとして何を言いたいのか、その主張をもっと出せばドキュメンタリー番組としてよかったのではないか」

などの意見が出されました。

以上